

令和元年度 第1回花見川区支え合いのまち推進協議会議事要旨

日 時 令和元年年6月26日(水) 午後2時～午後3時50分
場 所 花見川保健福祉センター3階大会議室

出席委員数	20人
欠席委員数	4人
オブザーバー	2人
傍聴人	0人
事務局	9人

【1】次第

- 1 開会
- 2 会議の公開について
- 3 議題
(1)「花見川区支え合いのまち推進計画（第4期花見川区地域福祉計画）」における
各社協地区部会推進計画（令和元年度）について
(2) その他
- 4 閉会

【2】議事要旨

委員定数24名のうち、4名の欠席を確認し開会した。

事務局より、会議の公開について説明があり、傍聴人の入室、会議録の作成、ホームページ及び推進協だより等への掲載のため、写真撮影、録音を行うことについて、また自治会等を通じ地域住民や公共の場に公開させていただく旨、了承を得た。（今回傍聴人0名。）

議題

- (1)「花見川区支え合いのまち推進計画（第4期花見川区地域福祉計画）」における
各社協地区部会推進計画（令和元年度）について

各社協地区部会長より、資料をもとに令和元年度の推進計画の説明があった。

なお、さつきが丘・宮野木台地区部会鈴木（恵）委員及び天戸中学校区地区部会の友利委員は欠席のため、社協花見川事務所が説明。

<質疑応答>

原田委員長 地域では高齢化が進み、担い手不足が深刻な問題であり、活動内容を見直しが必要という話が多かった。

石橋（富）委員 各地区で防災体制について推進計画に位置付けているが、それを踏まえ、行政等の対応はどうなっているのか？

石毛所長 避難所運営委員会を各自治会等に中心に立ち上げていて、役員名簿を更新している

堀室長 役員の変更等もあるので、年1度名簿・規約等を提出してもらっている。

既存の避難所運営委員会の活性化も重要と考え、講習会を毎年開催している。

原田委員長 市の防災対策課が避難所ごとに運営委員会を立ち上げるように指導しているが未設置のところもある。自分の地区は委員会は立ち上がっているが、役員が変わるので毎年フォローしているのが現状である。

原田委員長 （幕張本郷中学校区の）子育てサロンと社協の子育てサロンとは違うのか。

杉山委員 平成18年から手弁当で開始し、平成20年からは社協のサロンとして活動している。

蔵屋委員 高齢者の行方不明の放送をよく聞く。認知症対策の地域での取り組みが大事。

石橋（富）委員 要支援者リストはどこに配布先しているのか。

堀室長 要支援者名簿は、協定を結んだ自治会単位で提供している。

吉松委員 生活支援コーディネーターが社会資源を再調査しているが、どう生かすのか。

繁田委員 社協と連携し、防災についてアンケートを実施し、分析をしている。

繁田委員 「千葉市の生活支援サイト」が開設されるので是非活用してほしい。

原田委員長 この場の情報は各地区で持ち帰り、還元してほしい。

議題（２）「花見川糖尿病プロジェクト 「健康なまち花見川」を目指して」について
花見川区保健福祉センター健康課岡田課長から取り組み状況についての説明があった。

<質疑応答>

吉松委員 糖尿病予備軍は自覚がないのでどうアプローチしていくのか。

岡田課長 保健師や栄養士の健康相談や糖尿病予防教室を開催している。また、糖尿病サークルもあり、個別に訪問に行くことも可能である。

蔵屋委員 予防教室などの申し込み方法は？

岡田課長 ホームページや市政だよりでお知らせし、メールやはがきなどで応募してもらう。

蔵屋委員 講師の派遣はお願いできるのか。

岡田課長 年間スケジュールで決まっているが、相談いただければ個別に対応する。ただし、医師の講師派遣は難しい。

鶴岡委員 この取り組みの目的は

岡田課長 医療費削減効果を期待している。例えば人工透析は患者が一人あたり年間500万円かかっている。

天春委員 ヘルスサポーターは運動自主グループとして可能か

岡田課長 可能。

次に事務局より、次回は来年2月～3月頃に開催予定であると伝えた。

（閉会）

原田委員長が閉会挨拶し、午後3時50分、花見川区支え合いのまち推進協議会を閉会した。